

【小学校・音楽】

平成 30 年度の重点

1 指導計画及び評価計画の工夫・改善

- 音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、音楽活動の基礎的な能力を育成するために、〔共通事項〕を要として、表現と鑑賞の活動の関連を図り、児童に付けた力を明確にした題材構成による年間指導計画・評価計画の工夫・改善に努める。
- 指導目標を実現するために、指導と評価の一体化を図り、児童の発達段階や中学校との関連を考慮して、6年間（低・中・高）を見通した年間指導計画・評価計画の作成に努める。
- 児童の実態に応じ、指導内容、評価内容の焦点化を図り、題材目標の連続性・発展性を考慮した適切な音楽教材の選択、表現形態の工夫等効果的な指導計画・評価計画の作成に努める。
- 「音楽づくり」の指導の充実に努める。
- 我が国や郷土の伝統音楽に関する題材・教材の開発に努める。
- 国歌「君が代」は、いずれの学年においても適切な指導をするよう指導計画に位置付ける。

2 指導方法及び評価方法の工夫・改善

- 表現と鑑賞の多様な音楽活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、音楽活動の基礎的な能力を育成する指導方法・評価方法の工夫・改善に努める。
- 音楽を形づくっている要素などの学習を支えとして、感じ取ったことを基に思考・判断し、音楽を豊かに表現したり鑑賞を深めたりすることができるよう指導の工夫・改善に努める。
- 児童が友達とかかわり合いながら、音楽を学習する喜びを味わうような表現活動や鑑賞活動の充実に努める。
- 学習活動を通じて児童に付けた力を明確にし、評価の観点とその趣旨に基づき、指導のねらい、教材の特徴、学習活動に即した評価規準の設定に努めるとともに、評価の時期や場面、方法の工夫・改善を図り、評価結果を授業改善に生かすよう努める。

3 指導における留意点

- 表現や鑑賞の活動において、感じ取ったことを言葉で表したり、表現したい思いを伝え合ったりするといった、効果的な言語活動を取り入れた指導を工夫する。
- 道徳教育の目標に基づき、道徳科などとの関連を考慮しながら、道徳科の内容について、音楽科の特質に応じて適切な指導をする。

参考

◆ 県教育委員会ホームページ

- 評価資料集Ⅲ－評価活動の参考資料として－小学校

<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/363881.pdf>

- 教育課程編成の指針（幼稚園，小学校，中学校）小学校音楽（平成 22 年作成）

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/cnt/f6668/index.html>

- 教育課程編成の指針（幼稚園，小学校，中学校）小学校音楽（平成 30 年作成）

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3p/kyouikukateisisinn.html>

◆ 文部科学省ホームページ

- 移行措置関連資料

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387780.htm